放射性試料使用実験承認申請書 2024.2版

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Proposal Information |  |  |  |  |  |
| 課題番号  Proposal number |  | ビームライン\*  Beamline |  |
|  |  |
| 課題名  Title of Experiment |  | | |
|  |  |  |  |
| 実験責任者  Project Leader |  | 所属  Affiliation |  |
|  |  |  |  |
| ユーザーID番号  User ID Number |  | E-mail |  |
|  |  |  |

\*22XU, 23SUはハッチ名も記入してください。

申請日：　　年　　月　　日

公益財団法人高輝度光科学研究センター殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（申請者）

所属：

氏名：

下記の放射性試料使用実験計画を申請いたします。

1．実験試料の準備（物質毎に記載してください。必要に応じて欄を追加してください。）

　試料1

|  |  |
| --- | --- |
| 核種 | 天然Ｕ, 劣化Ｕ, トリウム (供給当事国:　　　)/ RI等(　　　) |
| 物質名 | ] |
| 形態(形状) | 固体, 液体, 気体, 粉末, ペレット状, その他（　　　　）] |
| 国規物:重量  RI:放射能量 | 国規物は使用予定の化合物重量と元素重量を記載してください。（1個あたりの量×個数、または総量） |
| 作成・密封方法 | 試料の密封は異なる材質による三重密封を強く推奨します。実験用チャンバは密封容器として考えることができます。また、試料を直接密封している容器は、ビーム照射による劣化に十分ご注意ください。国規物は、密封その他飛散防止措置を記載してください。  なお、同じ密封条件での実施例があれば課題番号をご記載ください。概要を記載し、詳細資料等が有れば添付して下さい。  密封一重目：  密封二重目：  密封三重目：  添付資料：有,無、 同じ密封条件での実施例[課題番号：　　　　] |

　試料2

|  |  |
| --- | --- |
| 核種 | 天然Ｕ, 劣化Ｕ, トリウム (供給当事国:　　　)/ RI等(　　　) |
| 物質名 | ] |
| 形態(形状) | 固体, 液体, 気体, 粉末, ペレット状, その他（　　　　）] |
| 国規物:重量  RI:放射能量 | 国規物は使用予定の化合物重量と元素重量を記載してください。（1個あたりの量×個数、または総量） |
| 作成・密封方法 | 密封一重目：  密封二重目：  密封三重目：  添付資料：有,無、 同じ密封条件での実施例[課題番号：　　　　] |

　試料3

|  |  |
| --- | --- |
| 核種 | 天然Ｕ, 劣化Ｕ, トリウム (供給当事国:　　　)/ RI等(　　　) |
| 物質名 | ] |
| 形態(形状) | 固体, 液体, 気体, 粉末, ペレット状, その他（　　　　）] |
| 国規物:重量  RI:放射能量 | 国規物は使用予定の化合物重量と元素重量を記載してください。（1個あたりの量×個数、または総量） |
| 作成・密封方法 | 密封一重目：  密封二重目：  密封三重目：  添付資料：有,無、 同じ密封条件での実施例[課題番号：　　　　] |

2．実験試料の準備（安全性の観点から記載してください）

　2.1 実験試料の運搬方法

|  |  |
| --- | --- |
| 運搬時の試料梱包方法 | 安全対策等の概要を記載し、詳細資料等があれば添付して下さい。  添付資料：有, 無 |
| 試料輸送方法 | 持参,輸送物（ L型， A型）,その他（　　　） |
| 試料発送元責任者 | 氏名：　　　所属：　　　　連絡先： |

　2.2 実験試料の保管方法（鍵で管理可能な保管庫が必要です）

|  |  |
| --- | --- |
| 専用保管庫(箱) | 有, 無：[有][無]とも具体的な保管方法を記載してください。  実験期間以外は安全管理室の保管庫に保管  実験期間中未使用時にはビームラインの鍵付き専用保管庫に保管  その他：具体的に記載ください(　　　　　　　　　　　) |

3．実験方法（安全性の観点から記載してください）

　3.1 実験方法の概略

|  |
| --- |
| 概要を記載し、詳細資料等があれば添付して下さい。  添付資料：有,無 |

　3.2 放射性試料の実験条件（圧力･温度等）

|  |  |
| --- | --- |
| 圧力範囲とその方法 |  |
| 温度範囲とその方法 |  |
| 他の条件 |  |

4．汚染拡散の防止対策

　4.1 漏洩事故等が生じた場合の対策

|  |
| --- |
|  |

　4.2 緊急時の連絡先（氏名及び携帯電話番号等:休日夜間も含む）

|  |
| --- |
| 連絡が取れるよう2箇所以上記載してください。人員の関係上2名以上の連絡先の記載が難しい場合は安全管理室にご相談ください。  １．  ２．  ３． |

　4.3 漏洩事故等により発生した汚染物の引取り先

|  |
| --- |
|  |

5.直近課題の実験における放射線安全に関する自己評価 (該当者のみ：委員会で承認され、実験後報告未了の課題がある場合)

　5.1 該当性チェック

|  |
| --- |
| (1) 様式34の申請は今回が初： はい→非該当,いいえ→(2)へ  (2) 実験後報告が未了の課題 ： ない→非該当,ある→該当:5.2へ |

　5.2 (該当者のみ)直近課題の実験における放射線安全に関する自己評価 (利用実験放射線委員会の審査にのみ使用します)

|  |  |
| --- | --- |
| 課題番号 |  |
| 試料の健全性 | 直近課題の実験の試料密封状況等を記載してください。 |
| 審査コメントへの対応状況 | 審査時のコメントを転記し、対応状況を記載してください。 |
| その他特記事項 |  |